

事業所名 アシスト・ケア（宝ヶ丘）

運 営 推 進 会 議 開 催 報 告 書

開催日時 令5年3月		コロナウイルス感染拡大の為、書面開催
参 加 者	議 題	
利用者	1 名	①前回の運営推進会議の振り返り②事業所の特色③利用者の構成④職員資質向上の取組み⑤苦情、事故、ヒヤリハットの事例⑥事業所で内外での活動⑦ボランティアとの連携⑧避難訓練⑨地域から課題や要望⑩その他
利用者家族	0 名	
地域住民の代表者	1 名	
市職員	1 名	
地域包括支援センター職員	1 名	
事業所	2 名	
会 議 録		
<p>1 13回（9月実施なし）運営推進会議の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方が参加出来る「バランスボールでの介護予防教室」を継続しています <p>2 事業所の特色</p> <p>半日の運動特化型デイサービス。マシン・マッサージ・集団運動・歩行訓練を行う事で、高齢者でも無理のない筋力維持をすることが出来ます。</p> <p>特色としては、マシン・マッサージ・歩行訓練の3つを備えた事業所は当社のみとなります。</p> <p>機能訓練を目的としたマシン運動は日常生活動作（歩く・立ち上がる・座る・物を採る）を模したものです。立ったり座ったり、物を取る時の動作、浴槽を跨ぐための反復動作をすることで日常生活がスムーズに行えることを目的にしています。</p> <p>歩行訓練、ウォーキングマシン、自転車漕ぎについてはスタンプラリーで利用者さんの意欲を引き出して、運動の機会を増やす取組みをしています。目標を達成すると表彰状や景品をお渡しするので自主的に楽しく取り組まれています。</p> <p>お風呂に入るときの動作訓練について→マシンでの開脚運動及び集団運動にて棒を跨いだり、棒を支点にしての開脚運動を行っています。</p> <p>3 利用者の構成</p> <p>利用者数約 90 名 男女比3対7 平均介護度1 平均利用者 日/14名</p> <p>4 職員資質向上の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・→外部研修、研修費用を一部会社負担にて受講 ・→動画を社内配信 ・介護予防教室（バランスボール）の運動に参加することで、参加者側の気持ちを感じて、指導方法を学ぶ機会とした。 		

・外部講師（理学療法士、歯科衛生士、ハンドマッサージ研修講師）を招いての講習。（コロナで実施出来ず）

5 苦情、事故、ヒヤリハットの事例

→事故になる前の「ヒヤリ」とした内容を提出するように、再度周知した。

→送迎車両降車後、フロアまでの誘導スタッフが付いておらず転倒。両膝骨折入院。

→送迎車両降車後、転倒。擦り傷。

6 事業所内外での活動

実施なし

7 ボランティアとの連携

なし

8 避難訓練 9月・3月に実施

「北側出入口より火事」の想定：南側非常口より自立歩行の方を優先的に誘導。歩行不安定な方は、南側入り口より誘導。

前回の課題として、誰を優先するのか検討した結果、自立度の高い方から優先して誘導したところスムーズにできた。

9 地域から課題や要望

・地域とはもっと密接に連携をして欲しい→ワンコイントレーニングを実施して地域の方への健康を提供。

・パンフレットの内容について確認したい→添付にて掲載

・非常時での地域連携とはどのような事か確認したい→年2回の避難訓練では店舗管理者と合同避難訓練を実施。又、当施設を瀬戸市と連携した「瀬戸市福祉避難所」としての協定を結ぶことで地域との連携を行っている。

10その他

なし